

ADOBE® CREATIVE SUITE® 5

展開とプロビジョニングの概念

© 2010 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Adobe® Creative Suite® Deployment and Provisioning Concepts

This guide is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the guide; and (2) any reuse or distribution of the guide contains a notice that use of the guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>

Adobe, the Adobe logo, Adobe Premiere Pro, Creative Suite, Flash, InDesign, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Mac is a trademark of Apple Inc., registered in the United States and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

目次

はじめに	4
アルファベット順の用語索引	4
基本的な概念	5
展開	5
プロビジョニング	5
Creative Suite 製品	6
単体製品	6
Suite 製品	6
展開の概念	6
インストールプロセスの用語	6
インストール	6
アンインストール	6
インストールプログラム	7
ネイティブインストールプログラム	7
サイレントインストール	7
カスタマイズしたインストール	7
エンタープライズ向けインストール	7
製品インストールフォルダー	8
メディアマスタリング	8
メディアイメージ	8
製品メディア	9
製品 ESD	9
インストールアーカイブ	9
ペイロード	9
共有コンポーネントとサポートコンポーネント	9
展開の用語	10
Application Manager	10
展開パッケージ	10
プロビジョニングの概念	10
ライセンス	10
シリアル番号	10
製品版シリアル番号	10
ボリュームシリアル番号	10
ライセンスキー	10
ライセンス保持者	10
シリアライズ	11
シリアライズ解除	11
ライセンス認証	11
ライセンス認証の解除	11
EULA	11
シリアル番号	11
展開とプロビジョニングの関連性	13

展開とプロビジョニングの概念

はじめに

このドキュメントでは、システムに Adobe® Creative Suite® 製品をインストールして実行できるようにするプロセスを説明する際に使用される概念と用語の定義について説明します。

このドキュメントの目的は次のとおりです。

- ▶ Adobe Creative Suite ソフトウェア製品をインストールし、すべての機能を実行できるようにするプロセスをドキュメントで説明する際に使用される概念と用語を定義すること。
- ▶ このプロセスを実行するためにアドビ システムズ社が提供するツールやドキュメントの基本的な概念を示すこと。

このドキュメントは、アドビユーザー、特に、Adobe Creative Suite 製品に関するインストール、アップデート、およびその他のサービスの提供を担当するエンタープライズユーザーを対象としています。

このドキュメントは、エンタープライズ環境における Creative Suite 5 製品の展開の様々な側面を解説するドキュメントセットの 1 つです。このドキュメントセットには、次のようなドキュメントも含まれています。

- ▶ エンタープライズ展開ガイド
- ▶ CS5 展開コンポーネントリファレンス
- ▶ エンタープライズ展開ワークシート

注意: このドキュメントおよびすべての関連ドキュメントでは、これ以降、Creative Suite 4 および Creative Suite 5 を CS4 および CS5 と表記します。また、Adobe Application Manager, Enterprise Edition を Application Manager と表記します。

アルファベット順の用語索引

Application Manager	サイレントインストール	ネイティブインストールプログラム
Creative Suite 製品	シリアルライズ	プロビジョニング
EULA	シリアルライズ解除	ペイロード
Suite 製品	シリアル番号	ボリュームシリアル番号
アンインストール	製品 ESD	メディアイメージ
インストール	製品インストールフォルダー	メディアマスタリング
インストールアーカイブ	製品版シリアル番号	ライセンス
インストールプログラム	製品メディア	ライセンスキー
エンタープライズ向けインストール	単体製品	ライセンス認証
カスタマイズしたインストール	展開	ライセンス認証の解除
共有コンポーネントとサポートコンポーネント	展開パッケージ	ライセンス保持者

基本的な概念

購入したソフトウェア製品をメディアから取り出して、システム上で実行できるようにするプロセスは、これまでインストールと呼ばれてきました。製品をインストールした後、製品を設定、アップデートおよび削除することができます。簡単に言うとこれくらいですが、実際の状況は、特にエンタープライズ環境ではより複雑です。この複雑な環境を構成する作業は、展開とプロビジョニングの2つのフェーズに分類されます。アプリケーションソフトウェアにおけるこの2つの概念は、これらの用語が軍事用語として使用されている場合とよく似ています。

展開

軍事的な意味で使用された場合、展開（デプロイメント）とは効果的な活動を行うことができる場所に部隊を配置するプロセスです。ソフトウェアの場合、これに相当するのがソフトウェアのインストールであり、アプリケーションファイルを必要な場所に配置します。ただし、ソフトウェアの世界では、展開にはこれ以外の作業も含まれます。このドキュメントのCS5製品の展開に関する説明では、展開に以下の作業が含まれます。

- ▷ インストール。アプリケーションファイルを物理メディアまたは電子メディアから、アプリケーションが実行されるシステムにコピーし、ユーザーがアプリケーションを起動できるようにオペレーティングシステムを設定することです。
- ▷ アップデート。システム上の既存のアプリケーションファイルを変更、追加、削除または置換することによって、新しいバージョンを追加したり、既存のバージョンに新機能や修正された機能を追加することです。
- ▷ アンインストール。アプリケーションファイルを削除し、アプリケーションが起動されないようにオペレーティングシステムを設定することです。
- ▷ 再インストール。アンインストールとインストールを1つのアクションにまとめたものです。
- ▷ インストールの追跡。アプリケーションが現在インストールされている場所およびコンピューターをレポートすることです。

これらのプロセスは、インストールされるアプリケーションとは別の、1つまたは複数の特殊なアプリケーションによって実行する必要があります。

プロビジョニング

軍事的な意味では、プロビジョニングは配備された部隊に、任務の遂行に必要なリソースを供給するプロセスです。ソフトウェアの世界では、プロビジョニングとは、主にアプリケーションにライセンス（実行する許可）を提供することによって、アプリケーションを起動し、実行し続けることができるようにすることを指します。

ソフトウェアプロビジョニングには多くの作業が含まれますが、その多くはアプリケーションのライセンスに関連しています。

- ▷ シリアルライズ。アプリケーションにシリアル番号を登録することです。この番号は製品を購入したときに提供されます。
- ▷ ライセンス認証。アドビシステムズ社がそのコンピューターにおけるこのアプリケーションのシリアル番号の使用を検証したことを示す、永続的で、改ざんできない、ローカルに格納されるトークンを、アドビシステムズ社から取得することです。
- ▷ 設定。アプリケーションが意図したとおりに実行されるようにアプリケーションの環境設定を調整することです。CS5 Suite製品は連携して動作するように設計されているので、適切な相互運用性を実現するには、1つのアプリケーションを設定するために、他のアプリケーションの設定が必要になる場合があります。また、多くのアプリケーションはオペレーティングシステムの機能を使用するので、アプリケーションを正しく設定するには、オペレーティングシステムの環境設定の調整が必要になる場合もあります。
- ▷ 使用許諾契約書。ソフトウェアの使用を許諾する法的なライセンスの条項についてユーザーの同意を取得することです。
- ▷ ライセンスの追跡。どのライセンスが、どこで、どのコンピューターで使用されているかをレポートすることです。
- ▷ アップデートの確認。定期的にサーバーにアクセスして、製品のアップデートが利用可能かどうかを確認することです。

これらの作業のすべてまたは多くは、アプリケーションでユーザーがライセンスを持っていることを確認できるように、アプリケーションで処理する必要があります。ただし、便宜上、多くのインストールプログラムは、シリアル番号の入力などの一部のプロビジョニング処理を実行できます。この情報は、アプリケーションの起動時に、アプリケーションで使用するためにコンピューターに保存されます。

注意:一部のアドビ製品のインストールプログラムでは展開中にライセンス認証も実行されますが、Creative Suite® のインストールプログラムではこの処理は行われません。

展開とプロビジョニングを個別のフェーズとして定義すると便利ですが、実際には、この2つは相互に関連した方法で実行されます。例えば、インストールプログラムは主にインストールの手順を実行しますが、一部のプロビジョニングの手順も実行する場合があります。詳しくは、「[展開とプロビジョニングの関連性](#)」(13 ページ以降)を参照してください。

Creative Suite 製品

1 つまたは複数の主要アプリケーションと、関連ユーティリティ、ライブラリおよびサンプルコンテンツなどのその他のサポート項目で構成されており、これらのすべてが1つのインストールプログラムによってインストールされ、この製品のすべてのアプリケーションで使用される1つのシリアル番号によって使用許諾されるアドビ製品。この製品の名前には、「CS」または「Creative Suite」という単語が含まれます。

単体製品

1 つの主要製品と、前述の関連項目で構成される Creative Suite 製品。単体製品の例として、InDesign® CS5、Photoshop® CS5、Flash® Professional CS5 などがあります。

Suite 製品

複数の主要製品と、前述の関連項目で構成される Creative Suite 製品。Suite に含まれる主要アプリケーションには、Suite として購入または使用許諾された場合にのみ使用できる特殊な機能が含まれていることがあります。Suite 製品をインストールするときには、インストールする主要製品を選択できます。すべての製品をインストールする必要はありません。CS5 Suite 製品には、Design Standard、Design Premium、Web Premium、Master Collection および Production Premium の5つがあります。

次の2つのセクションでは、展開とプロビジョニングの詳細と、各フェーズで使用される用語の定義を説明します。

展開の概念

インストールプロセスの用語

「インストール」という用語は、一般的に「インストーラーを実行する」という意味で使用されていますが、実際には、それほど単純ではありません。多くのインストーラーはインストール以外の処理も行い、展開だけではなく、一部のプロビジョニングも実行します。インストーラーという用語は多くの意味で使用されるので、技術用語としては意味を成さなくなっています。したがって、ここでは、「インストール」という用語およびその他の関連用語を細かく定義し、「インストーラー」という用語も使用しないようにしています。

インストール

製品ファイルと関連ファイルをコンピューターにコピーし、必要なオペレーティングシステムの設定を行い、インストールの完了時に、適切な方法で製品を実行できるようにするプロセス。

インストールは、いくつかのファイルといくつかの設定を1つのインストールプロセスで行うという単純な場合もあれば、ユーザーから見ると1つのアプリケーションまたはアプリケーションセットとして連携して動作する多数のコンポーネントが多くのファイルから構成されており、完全にインストールおよび設定するには複数のインストールプロセスが必要になるような複雑な場合もあります。

この用語は、動詞として使用することも（「Photoshop をインストールする準備ができた」など）、名詞として使用することもできます（「Photoshop のインストールを実行した」など）。

アンインストール

製品ファイルを製品の痕跡が残らないようにコンピューターから削除し、システムでアプリケーションを実行できないようにするプロセス。

アンインストールは、いくつかのファイルを削除するだけという単純な場合もあれば、システム上に残っている他のアプリケーションや製品と共有されている可能性がある関連コンポーネントを削除するかどうかの決定が必要になるような複雑な場合もあります。インストールと同様に、アンインストールでも、完全にアンインストールするために複数のアンインストールプロセスが必要になる場合があります。

この用語は、動詞として使用することも（「Photoshop をアンインストールしようとしている」など）、名詞として使用することもできます（「Photoshop のアンインストールを実行した」など）。

インストールプログラム

製品をコンピューターにインストールし、一部のプロビジョニング作業（ライセンス認証や設定など）も実行する場合があるプログラム。

インストールプログラムはオペレーティングシステムに依存します。環境変数、アプリケーションの環境設定、パス名を指定する方法がオペレーティングシステムによって異なるからです。初期設定の場所やディレクトリ構造も異なります。このような相違点があるため、インストールプログラムはプラットフォームに固有です。Windows 版と Mac OS 版のインストールプログラムは、実行時の外観や動作はほぼ同じであり、コードの多くも共有していますが、一部のコードはプラットフォーム固有です。

ネイティブインストールプログラム

オペレーティングシステムの一部として付属している汎用のインストールプログラム。そのプラットフォームで多くのアプリケーションのインストールに使用できます。ネイティブインストールプログラムを使用して、CS5 製品をインストールすることはできません。

サイレントインストール

UI を使用せずにインストールプログラムを実行すること。

サイレントインストールはいくつかの状況で有効です。IS 部門によるソフトウェアの展開において時間を節約する場合や、ネットワーク環境でインストールソフトウェアが中央のサーバーに保存されており、個々のシステムではマルチシートサイトライセンスを使用してサーバーからアプリケーションをインストールするような場合です。エンタープライズ環境は、通常、これらの条件のいずれかまたは両方に該当しています。

カスタマイズしたインストール

選択項目があらかじめ設定され、UI（存在する場合）でそれらの選択項目を初期設定値として使用して実行されるインストール。

エンタープライズ向けインストール

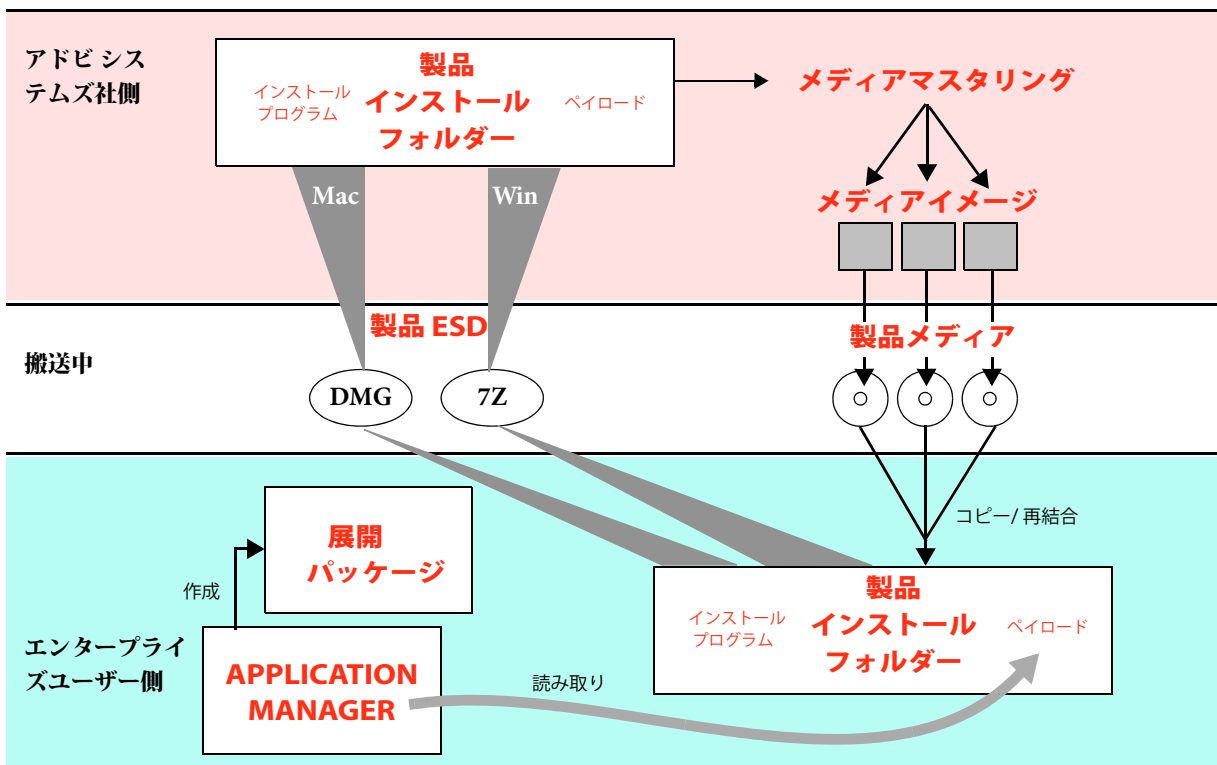
多くのコンピューターに対して、カスタマイズしたサイレントインストールを同時に実行すること。Adobe Application Manager, Enterprise Edition を使用して作成した CS5 展開パッケージでは、エンタープライズ向けインストールが実行されます。

「インストーラー」という用語は、次のような様々な意味で使用されてきました。

1. ダブルクリックするかまたは実行することによってインストールを開始するアイコンまたは実行可能プログラム。CS5 製品の場合、これは Windows では `Set-up.exe`、Mac OS では `Install.app` という名前のプログラムです。
2. 実行可能プログラムと共に、サブフォルダーの階層にインストールの実行に必要なリソースを格納しているフォルダー。
3. リソースの 1 つであるペイロードを簡潔に表す用語。
4. 製品メディアを簡潔に表す用語。
5. メディアイメージを簡潔に表す用語。

これら 5 つの関連性はあるが異なる概念を区別するために、ここでは技術用語として「インストーラー」という単語は使用しません。最初の用語は既に定義したようにインストールプログラムと呼び、2 番目の用語は製品インストールフォルダーと呼びます。これ以外のペイロード、製品メディア、メディアイメージの 3 つについては、具体的な用語として、他の用語と共にここで細かく定義します。次のページの図は、これらの項目の概念を示したものです。このドキュメントで定義されている用語は、図の中で赤字で示されています。

これらの用語を特定の意味で使い慣れている場合は、このドキュメントで示す定義に違和感を感じるかもしれませんが、これらの定義に慣れるようにしてください。長期的に見れば、これらの定義を使用することによって、ドキュメントでの説明が非常に明確になります。



製品インストールフォルダー

インストールプログラム、インストールプログラムの実行に必要な関連ファイルやライブラリ、および特定の CS5 製品のインストールに必要なすべての製品アプリケーションファイルと設定情報（ペイロード）を含んでいるサブフォルダーを格納するフォルダー。このフォルダー構造は、アドビ システムズ社の開発チームから生み出されるときに製品の形態です。また、製品 ESD をマウントまたは抽出したり、1 つまたは複数の DVD（製品メディア）をディスクにコピーしたりしたときの形態でもあります。この形態は、Application Manager で必要になります。

これは以前に「インストーラー」と呼ばれていた可能性があります。

メディアマスタリング

「イメージマスタリング」とも呼ばれます。製品インストールフォルダーの内容をチャンクに分割して、各チャンクが 1 つの物理メディアに収まるようにするプロセス。現在 CS5 製品でサポートされているメディアは DVD だけです。マスタリングプロセスの結果が 1 つのチャンクになった場合、すべてのデータは 1 枚の DVD に収まります。結果が複数のチャンクになった場合は、データは複数の DVD にまたがって収録されます。

いずれの場合も、このプロセスによってメディアマスタリング情報も作成されます。この情報には、ブランド情報と、インストールプログラムが DVD 上の製品インストールフォルダーの内容を見つけることができるようにするインデックスが含まれます。この追加情報は最初のチャンクに含まれます。1 枚の DVD に収まる場合は、インデックスは非常に単純で、すべての内容は最初の DVD に収められています。

メディアイメージ

メディアマスタリングプロセスで生成されるファイルのチャンク。各メディアイメージは、製品の製造時に 1 枚の DVD に書き込まれます。

製品メディア

それぞれがメディアイメージを保持し、まとめて単一の CS5 製品の製品インストールフォルダーを格納している 1 枚または複数枚の DVD。アドビ システムズ社からユーザーに対して輸送可能な製品インストールフォルダーのパッケージであり、インストールプログラムで直接使用して製品をインストールできます。製品メディアは、通常、シュリンクラップで包装された製品に同梱されています。

製品 ESD

圧縮された電子版の製品インストールフォルダー。ESD は Electronic Software Distribution（電子ソフトウェア配布）を意味します。製品 ESD は物理メディアの電子版に相当します。

- ▷ Windows では、製品 ESD は自己抽出形式の 7-ZIP アーカイブです。抽出すると、元の製品インストールフォルダーになります。
- ▷ Mac OS では、ESD はマウント可能な DMG 仮想ディスクイメージです。これは、Mac OS でのメディアイメージの標準形式です。DMG をマウントすると、元の製品インストールフォルダーになります。

製品 ESD はすべてのボリュームユーザーが利用できますが、一部のユーザーについては有料になります。これは、エンタープライズ展開で使用する場合にお勧めする配布形態です。

インストールアーカイブ

インストールアーカイブは、インストールプログラムでの使用に適した特定の種類のファイルアーカイブ形式です。インストールアーカイブには、インストール時にインストールプログラムが抽出してシステムにコピーするすべてのファイルが含まれています。インストールアーカイブには様々な種類があります。インストールアーカイブは 1 つのファイルである場合も、アーカイブデータを含むフォルダーである場合もあります。

インストールプログラムにはそのプログラムでのみ認識される特殊なアーカイブファイル形式を使用するものもありますが、多くのインストールプログラムでは、インストールのコンテキスト以外でも使用される標準的なアーカイブ形式のインストールアーカイブを使用します。

ペイロード

ペイロードは、特定のアプリケーション、コンポーネントまたは個々の機能をインストールするための詳細な手順です。これらの手順には、インストールアーカイブのコンテンツのコピー先となるターゲットシステム上の場所、コピーされる各項目の名前の付け方、必要なオペレーティングシステムの設定に関する指示や、必要なプロビジョニング作業に関する指示が含まれる場合があります。

ペイロードには、ペイロードの手順に従う際にインストールプログラムが使用する、インストールアーカイブ、インストールプログラムの UI に表示されるグラフィックス、関連するペイロードのメタデータなどの追加のマテリアルが含まれる場合もあります。ペイロードには、別のペイロードを含めることもできます。

ペイロードには多くの形式があり、1 つのファイル、ファイルのグループ、フォルダーまたはフォルダー階層になる場合もあります。特定のインストールプログラムでは、特定のペイロードの形式のみが認識されます。

共有コンポーネントとサポートコンポーネント

この 2 つの用語は、スタンドアロンアプリケーションではなく、CS5 単体製品または Suite 製品の主要アプリケーションに含まれるようなコンポーネントを指します。これらのコンポーネントは個別に販売されません。コンポーネントはそれぞれ固有の機能を提供します。コンポーネントは、小さなリソースのコレクションや起動可能なアプリケーションである場合があります。コンポーネントの中には、1 つまたは複数の主要アプリケーションですべての機能を表示するために必要となるものもあれば、製品のインストール時にオプションの選択肢として使用できるものもあります。

共有コンポーネントの例としては、Adobe Bridge、Adobe Device Central および Adobe Drive があります。サポートコンポーネントの例としては、Adobe Fonts All bundle、Adobe Color CommonSet カラー設定、Adobe PDF Library ファイル および Adobe Update Manager があります。

展開の用語

APPLICATION MANAGER

Adobe Application Manager, Enterprise Edition。展開パッケージを作成するための、AIR ベースの GUI を備えた小さなアドビアプリケーション。[展開パッケージ](#)を参照してください。

Application Manager は、1 つの製品インストールフォルダーを読み込み、インストールすることを選択できるアプリケーションおよびコンポーネントの一覧を表示します。様々な設定オプションとシリアル番号（体験版をインストールする場合を除く）を指定します。

パッケージを展開するときには、Adobe Application Manager, Enterprise Edition で作成した[インストールプログラム](#)によって Application Manager のクライアント版がインストールされ、これによってインストールプロセスが管理されます。

展開パッケージ

展開パッケージは、特定の単体製品およびコンポーネントのセットについて、CS5 製品インストールプログラムの起動をカプセル化したものです。展開パッケージによって、エンタープライズ向けインストールを実行する CS5 インストールプログラムの起動を自動化できます。

展開パッケージには、特定の CS5 製品についてインストールすることを選択したアプリケーションとコンポーネントの一覧と共に、インストールプロセスとインストールされるアプリケーションの両方の動作を制御するオプションの選択内容が記録されます。これらのオプションの一部は、展開パッケージを使用しない場合は設定ファイルで設定することもできますが、その他は展開パッケージでのみ使用できます。

プロビジョニングの概念

ライセンス

ユーザーに Adobe® ソフトウェアの使用を許諾するユーザーとアドビシステムズ社との間の法的な契約。

シリアル番号

特定のアドビ製品とそれに関連する法的な使用許諾契約の購入を表す、アドビシステムズ社によって生成された 24 桁の印刷可能な文字列です。エンタープライズ環境の場合、アドビシステムズ社はシリアル番号をライセンスキーとして使用します。詳しくは、[ライセンスキー](#)を参照してください。

製品版シリアル番号

製品版の場合、ライセンスは 1 人のユーザーによって所有され、製品を 1 台または 2 台のコンピューターにインストールして使用することが、そのユーザーに対して許可されます。このような文脈では、アドビシステムズ社によって生成される 24 文字の文字列は、**製品版シリアル番号**、より一般的には単に**シリアル番号**と呼ばれます。

ボリュームシリアル番号

エンタープライズ環境では、ライセンスは 1 人のユーザーまたは会社によって所有され、ライセンスによって製品を複数のコンピューターにインストールして使用することが、そのユーザーまたは会社に対して許可されます。これをマルチシートライセンスと呼びます。使用が許可されるコンピューターの台数はライセンス契約の中で指定されます。このような文脈では、アドビシステムズ社によって生成される 24 文字の文字列は、**ボリュームシリアル番号**と呼ばれます。このドキュメントセットにおいて、文脈からボリュームシリアル番号を指すことが明確である場合は、この用語も単に**シリアル番号**と呼ばれることがあります。[ライセンスキー](#)も参照してください。

ライセンスキー

一般的には、アプリケーションの機能のロックを解除するために、アプリケーションに対して入力する、印刷可能な文字および数字の特殊なシーケンス。アドビシステムズ社ではライセンスキーとしてシリアル番号を使用しています。ボリュームシリアル番号を意味する用語としてライセンスキーという用語が使用されるのはこのためです。ライセンスキーという用語は一般的にエンタープライズ環境で使用されます。アドビシステムズ社では、ライセンスキーはボリュームシリアル番号です。このドキュメントセットでは、「シリアル番号」または「ボリュームシリアル番号」という用語を使用しています。

ライセンス保持者

ソフトウェアを所有するユーザー。会社がソフトウェアを所有する場合は、ライセンス保持者としての役割を担当するユーザー。

シリアルライズ

アプリケーションのシリアル番号を入力して検証し、ユーザーが起動したときにアプリケーションのすべての機能を使用できるようにするプロセス。このプロセスが正常に完了したときに、アプリケーションは**シリアルライズ**されたといえます。

シリアルライズ解除

既に入力したシリアル番号をアプリケーションから消去する作業。このプロセスは、**シリアル番号の返却**と呼ばれることもあります。シリアルライズ解除したアプリケーションを起動すると、別のシリアル番号を入力するよう求められます。

ライセンス認証

ライセンス認証する製品についてシリアル番号がアドビ システムズ社から発行されていることと、シリアル番号が許可された台数よりも多くのコンピューターで使用されていないことを検証するプロセス。このプロセスによって、永続的で、改ざんできない、ローカルに格納されるライセンス認証トークンがアドビ システムズ社から発行され、アプリケーションを実行するコンピューターに配置されます。このトークンはアドビ システムズ社側でも保存されます。ライセンス認証はシリアルライズの後に行われます。

ライセンス認証の解除

ライセンス認証トークンをコンピューターから削除するプロセス。トークンが属していたアプリケーションは使用できなくなります。アプリケーションを削除する前に、ライセンス認証を解除する必要があります。ライセンス認証の解除は、アプリケーションのヘルプメニューから実行できます。アプリケーションのライセンス認証を解除する最も一般的な状況は、アプリケーションをあるコンピューターから別のコンピューターに移動する場合です。

ライセンス認証の解除は、通常、シリアルライズ解除と共に行われます。ライセンス認証を解除しない場合、次回アプリケーションを起動したときに、再びライセンス認証が行われます。

EULA

End User License Agreement（使用許諾契約書）の頭字語。EULA には、特定のライセンス契約に関連するすべての法的な条件が記述されます。EULA の文脈では、エンドユーザーとは購入者を指します。

EULA のテキストは、新しくインストールしたアプリケーションを最初に起動したときに表示されます。製品版の場合、エンドユーザーが購入者であるため、この動作は適切です。一方、エンタープライズ展開の場合、会社が購入者であり、会社が製品を購入したときに EULA に同意しています。このような場合は、展開パッケージでインストールされるアプリケーションで EULA が表示されないように展開パッケージを設定できます。

シリアル番号

シリアル番号の作成の仕組み

アドビ製品のシリアル番号は、アドビ システムズ社で特殊なソフトウェアによってランダムに生成された 24 桁の数字の文字列です。シリアル番号は、ハイフン付きで表示される場合と、ハイフンなしで表示される場合がありますが、ハイフン付きの場合は文字列はハイフンによって 4 桁のグループに分けられます。

アドビ製品のシリアル番号は、次の 2 つの形式のいずれかになります。

- ▶ クリアテキスト形式。この形式のシリアル番号は、必ずというわけではありませんが、通常「1」から始まります。

クリアテキスト形式は、アドビ システムズ社からユーザーにシリアル番号を提供するときに常に使用されます。製品版ユーザーが受け取ったシュリンクラップされた箱に入った紙に書かれているシリアル番号や、製品のボリュームライセンスを購入したときにアドビライセンス Web サイトから取得したシリアル番号は、クリアテキスト形式です。

この形式は、アドビ システムズ社に連絡する場合や、アドビ製品を操作するときにも使用します。Adobe Deployment Toolkit、アドビインストールプログラムの UI、アドビアプリケーションの UI でシリアル番号を入力する場合や、アドビ システムズ社の従業員に直接連絡する場合に、クリアテキスト形式を使用します。

- ▶ 暗号化形式。この形式のシリアル番号は、必ずというわけではありませんが、通常「9」から始まります。暗号化形式は、シリアル番号の暗号化と解読の両方を実行できるアドビソフトウェアでのみ使用されます。アドビアプリケーションがシリアルライズされている場合、アプリケーションはシリアル番号を暗号化形式でシステムに保存し、ディスクを検索することによってシリアル番号が読み取られないようにします。

シリアル番号の入力の方法

シリアル番号は製品を使用する法的な権利を表します。シリアル番号は、次の 3 つの方法のいずれかで入力できます。

- ▶ **Application Manager** に対して入力。展開パッケージを作成するときに、パッケージ化する CS5 製品のボリュームシリアル番号を入力する必要があります。Application Manager によって、入力したシリアル番号の有効性が確認されます。
- ▶ インストールプログラムに対して入力。製品のインストールプログラムを直接実行する場合、シリアル番号を入力するよう求められます。UI では、製品版シリアル番号またはボリュームシリアル番号を入力できます。インストールプログラムによって、入力したシリアル番号が、インストールしている製品で有効であるかどうかを確認されます。

インストール時のシリアル番号の入力は省略できます。シリアル番号を入力しなかった場合、製品は体験版モードでインストールされます。後の「[体験版ライセンス](#)」を参照してください。

1 台のみまたはごく少数のコンピューターを対象に製品版のインストールを行う場合で、シリアル番号が印刷された製品メディアのケースが既に手元にあり、その製品を使用し続けることが確実である場合は、インストール時にシリアル番号を入力してください。

- ▶ アプリケーションに対して入力。製品を体験版モードで使用することを計画していた場合や、その他の理由でインストール時にシリアル番号が手元になかった場合は、アプリケーションを起動するたびにシリアル番号を入力するよう求められます。シリアル番号は、試用期間中いつでも入力できます。入力方法については、後の「[体験版ライセンス](#)」を参照してください。

パッケージ化またはインストールする製品のシリアル番号のみを受け付ける展開ツールキットやインストールプログラムとは異なり、アプリケーションでは、そのアプリケーションを含む、購入済みの任意の製品のシリアル番号を入力できます。例えば、Photoshop には、Photoshop、Photoshop Extended、Design Standard、Design Premium、Web Premium、Master Collection または Production Premium のシリアル番号を入力できます。ただし、バージョンが一致している（どちらも CS5 である）必要があります。

シリアル番号のライセンス認証の仕組み

すべての CS5 製品について、アプリケーションをシリアルライズした後、最初に起動したときにライセンス認証が実行されます。ライセンス認証プロセスでは、以下の処理が行われます。

- ▶ アプリケーションはコンピューターの ID とシリアル番号をアドビ システムズ社に送信します。このため、オンライン接続が必要です。
- ▶ アドビ システムズ社では、アプリケーションのシリアル番号がアドビ システムズ社によって発行されたものであり、シリアル番号が指定された台数よりも多くのコンピューターで使用されていないことを確認します。
- ▶ すべてにおいて問題がない場合、アドビ システムズ社は永続的で、改ざんできない、ローカルに格納可能なライセンス認証トークンを、アプリケーションに対して発行します。アプリケーションはこのトークンをシステムに格納します。また、トークンはアドビ システムズ社側でも格納されます。

ライセンス認証が失敗した場合を除き、ライセンス認証のプロセスはアプリケーションを起動したユーザーには見えません。ライセンス認証に失敗した場合、アプリケーションはユーザーに追加情報の入力を求めます。

体験版ライセンス

Adobe CS5 製品を購入した場合、実際には 2 つのライセンスを取得したことになります。購入したライセンスと、製品に組み込まれている体験版ライセンスと呼ばれるライセンスです。購入した（または購入する）ライセンスは、製品メディアに付属するシリアル番号によって表されます。シリアル番号は印刷物で提供される場合と、アドビ システムズ社またはお近くのリセラーから他の通信手段によって伝えられる場合があります。体験版ライセンスのシリアル番号は、アプリケーションに付属するライセンス設定ファイルに暗号化された形式で格納されています。

アドビ展開パッケージから展開する場合のように、シリアル番号を指定してアプリケーションをインストールする場合、そのような方法でインストールされたアプリケーションのユーザーには、ライセンスに関する処理が行われたかどうかはわかりません。このような場合、体験版ライセンスは使用されません。

ただし、アプリケーションはシリアル番号を入力しなくてもインストールできます。直接セットアッププログラムやインストールプログラムを実行すると、シリアル番号の入力を求められますが、入力必須ではありません。シリアル番号を入力しなかった場合、だれも明示的にシリアル番号を入力しなくても、一定期間アプリケーションを使用できます。内部的には、アプリケーションは製品に組み込まれた体験版ライセンスを使用しています。これによって、ユーザーはアプリケーションを一定期間試用してから、購入するかどうかを決定できます。試用期間は通常 30 日間です。

アプリケーションを体験版モードで使用している場合、アプリケーションを起動するたびにシリアル番号を入力するよう求められますが、シリアル番号を入力しなくてもアプリケーションを実行できます。ただし、試用期間が終了すると、アプリケーションを引き続き使用するには、シリアル番号を入力する必要があります。

展開とプロビジョニングの関連性

ここでは、説明をわかりやすくするために、展開とプロビジョニングを別の作業として定義しましたが、実際にはこの 2 つが同時に行われることはよくあります。実際、製品のインストールに使用される多くのツールやプロセスは、この両方の処理を行います。また、多くの操作には、両方の側面が含まれています。

1. インストールプログラムは展開と共に、一部のプロビジョニング処理も実行します。なぜなら、インストールプログラムの処理が完了したときには、ユーザーはアプリケーションを起動できからです。インストールプログラムはファイルをシステムに配置します（展開）。シリアル番号が指定されている場合には、シリアル番号を受け付けて処理します（プロビジョニング）。また、EULA の表示の抑制、製品の登録、アップデートの自動確認など、インストールされたアプリケーションの特定の動作も設定できます（プロビジョニング）。
2. アプリケーションを展開するときに、アプリケーションの実行時に使用される標準的な環境設定も展開することができます。これは実際にはプロビジョニングの手順であり、一部はインストールプログラムによって（システム上にアプリケーションを適切に配置するときに）実行され、一部はアプリケーションによって（実行時に環境設定を探るときに）実行されます。さらに、新しくインストールされたアプリケーションが起動されたときに、環境設定が何も見つからない場合は、独自の初期設定が作成されます。つまり、アプリケーション自体がプロビジョニングを実行します。
3. CS5 アプリケーションでは、ライセンス認証が行われるときにプロビジョニングが実行されます。
4. アプリケーションは直接展開を実行することはできませんが、別のプログラムによって展開処理をトリガーすることはできます。
 - ▷ アプリケーションにはアップデートの自動検出機能があります。また、ユーザーが明示的に利用可能なアップデートを検索するためのメニュー項目も用意されています。この場合、ユーザーが検出されたアップデートを受け入れると、アプリケーションはアップデーターによるアップデートの実行をトリガーします。
 - ▷ 一部のアプリケーションでは、サードパーティのコードを使用して特定の機能を実装しており、これらの機能はインストール時にシリアル番号を入力しないとインストールできない場合があります。これは、製品の体験版にはその機能が含まれていないことを意味しています。

この例として、Adobe Premiere® Pro があります。シリアル番号を入力せずに Adobe Premiere Pro をインストールした場合、一部の機能はインストールされません。例えば、MP2 を使用してビデオを生成する機能は体験版では利用できません。この機能は、ファイルシステム上で個別のエンティティとなるような方法で製品に組み込まれており、Adobe Premiere Pro を実行する以外の方法でも直接アクセスすることができます。

アプリケーションが体験版モードで実行されている場合、アプリケーションを起動するたびにシリアル番号の入力画面が表示され、シリアル番号を入力すると、試用期間を終了することができます。したがって、試用期間中いつでも、アドビシステムズ社にライセンス料金を支払ってアプリケーションの購入を決定できます。ライセンスを購入すると、シリアル番号が通知されます。これで、Adobe Premiere Pro を起動したときにシリアル番号を入力できるようになります。アプリケーションのライセンス認証はプロビジョニングの手順ですが、このプロセスの中で、アプリケーションの一部の機能がまだディスクにインストールされていないことが通知され、インストールプログラムを呼び出して不足している機能がインストールされます（展開）。